



幼稚園だより

令和5年度
7月号

やり抜く力

令和5年6月30日
文京区立湯島幼稚園
園長 前田 宏子

プール開きも終わると暑さが増してくると感じます。今年の夏もプールや水遊びをいっぱい楽しんでいきたいと思います。

入園や進級からあっという間に3か月が過ぎようとしています。4月にはドキドキしながら遊んでいた子どもたちも、今ではすっかり“湯島の子”になり、自分なりに楽しいことを見つけて遊んでいます。

5歳児ゆり組は昨年度末からウサギのふうくんお世話を引き継いで、毎日行っています。ふうくんの世話は当番制です。毎日、当番の人はグループの友達と誘い合って、子どもたちで世話を進めていきます。うさぎのフンを捨てたり、エサをあげたり、水を替えたりしています。やるべきことがいくつもあるので「私が水を換えるね」「わたしはウンチを掃除するね」など、声を掛け合って進めています。進級当初は担任と一緒に世話を行っていたのですが、気持ちがなかなか向かず隣にいる金魚を眺めていたり、「え～ウンチを取るのはやだ！」と言ったり、「私はエサをあげるだけ」と言ったりとなかなか世話を終わらせることができない時もありました。しかし、動物の世話は嫌だからやらなくていいものではありません。世話をしなくては生きていくことができないからです。そのことを根気よく伝え、どんなに時間がかかっても最後までグループの子どもたちで行っていました。今では子どもたちで世話を進めて、あっという間に終わらせていきます。その横で、もも組やばら組の子どもたちはふうくんや世話をしているゆり組の子どもたちを見ている。この姿がまた来年につながっていくと思います。

先日の講演会で非認知能力の話がありました。GRIT(やり抜く力)として、Guts(困難に立ち向かう度胸) Resilience(失敗しても諦めない粘り強さ) Initiative(自らが目標を定め取り組む自主性) Tenacity(最後までやり遂げる執念)があげられていました。私はウサギの世話をするだけでもこれらの力を子どもたちは獲得していると感じます。できるようになるにはただ繰り返し行っているだけではありません。ウサギに対する思い、友達と一緒にやっていくことでの連帯感、世話をした後で教職員から「お疲れ様」「頑張ったね」などの認め言葉を聞くことなど気持ちが大きく影響していると思います。GRIT(やり抜く力)の裏には頑張りだけではなく、様々なことが影響をしていると考えます。小学校以降の教科学習とは違い、幼稚園の教育は生活の中から様々な力を育てていきます。これからも日々の生活を大切に教育を行っていきます。

最後になりましたが、1学期の間、保護者や地域の皆様には様々なご協力をいただき、ありがとうございました。

ウサギの
ふうくん
です

